

## 次世代育成サポーター養成講座受講完了証を授与しました

昨年11月29日、保健学研究科大会議室において、安川室長から医学部2年生の平山亮さんに次世代育成サポーター養成講座受講完了証が授与されました。次世代育成サポーター養成講座は、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)代表機関の岩手大学が開講したもので、弘前大学では、学生への男女共同参画・キャリア形成支援教育・学修機会の充実を図ることを目的として受講支援をしたものです。

平山さんは、岩手大学の学生や地域の方々とともに、乳幼児の発達・心理・食育・地域の子育て支援等の子どもと楽しくかかわるために必要な知識やスキルを学び、レポートを提出して受講を完了した後、既出の第1回「さんかくカフェ」に子連れで参加した職員の子どもの見守りに従事しました。

男女共同参画推進室では、平成31年度も弘前大学の学生の本講座の受講を支援する予定です。



平山さん(左)と安川室長

## 弘前大学女性研究者のポスターを展示しました



アピオあおもり秋まつりでの展示の様子

昨年10月22～23日に弘前大学総合文化祭において、11月11日に青森県男女共同参画センター(アピオあおもり)での「アピオあおもり秋まつり」において、2月10日に弘前駅前公共施設ヒロロスクエアでの「市民ボランティア交流まつり」において、弘前大学の女性研究者の研究やワーク・ライフ・バランスなどを紹介するポスターを展示しました。本展示は、弘前大学の女性研究者による研究をより広く地域の方々にも知っていただくとともに、本学の男女共同参画推進の取組について情報を発信することを目的として実施したものです。

3会場で377名にご覧いただき、「いろいろな分野で活躍されている方がいることが分かった」「女性研究者の活躍の場が増えつつある中、弘前大学からもっと研究成果を含めて発信してほしい」等の感想が寄せられました。

## 女子高生工学系キャリアサポートに協賛しました

昨年12月8～9日に弘前大学理工学部校舎において、「女子高生工学系キャリアサポート」が開催され、男女共同参画推進室ではこの取組に協賛しました。本プログラムは、理工学研究科の鳥飼宏之准教授が中心となり東北工学教育協会の助成により実施されたもので、青森県内の4つの高校の女子高校生24名が参加。実験やディスカッション、発表を通じて、弘前大学理工学部への興味や工学系キャリアパスへの関心を高めました。参加者からは「今まではずっと医療系しか考えていませんでしたが、この体験活動をととして工学系にも関心を持つことができました」「折り紙の燃焼実験はとても楽しかった。女性エンジニアという職業に興味を持つことができとてもよい経験ができた」「問題の答えを実際に自分たちで実験して探すというのが、面白かったし印象に残った」等の感想が寄せられ、大変好評でした。

## インドの女性研究者らが男女共同参画推進室を訪問されました

昨年12月4日、インドニッテ準大学の女性研究者・学生のみなさんが、男女共同参画推進室に来られました。みなさんは、元男女共同参画推進室員で農学生命科学部の牛田千里教授が獲得した科学技術振興機構の「日本・アジア青少年サイエンス交流計画(さくらサイエンスプラン)」の助成により招かれ、1週間弘前に滞在、この滞在中に推進室を訪問して下さったものです。当日は、石川理事と約30分にわたり、日本とインドの科学技術・学術分野における男女共同参画の現状や課題について、活発に情報・意見交換をされました。



石川理事(中央奥)、牛田教授(右奥)とニッテ準大学のみなさん

2019年3月発行

弘前大学男女共同参画推進室

# さんかくつうしん

Newsletter Vol.20



Hirosaki University  
弘前大学  
男女共同  
参画推進室

## 北東北国立3大学男女共同参画シンポジウムを開催しました

昨年9月21日、創立60周年記念会館八甲田ホールにおいて、北東北国立3大学男女共同参画シンポジウム「大学のダイバーシティ推進と人材育成—産業界からの期待」を開催しました。このシンポジウムは、北東北国立3大学(秋田大学・岩手大学・弘前大学)が連携してよりいっそうの男女共同参画の定着と発展を図ることを目的に、平成22年度から3大学が持ち回りで開催しているものです。平成30年度は弘前大学がホスト校を務めました。

基調講演師には経済産業省東北経済産業局長の相樂希美氏をお迎えし、経済産業省の取組を踏まえた女性活躍推進やダイバーシティ経営の推進等についてお話をいただきました。

後半は弘前大学、秋田大学、岩手大学からの取組報告に続いてパネルディスカッションがあり、3大学の理事がパネリストを、本学の安川あけみ男女共同参画推進室長がモデレーターを務め、ダイバーシティ推進において大学が果たす役割や各大学が持つ地域ネットワーク間の連携の可能性等について、意見交換が行われました。

最後に相樂氏から「この10年の3大学の連携は、北東北の大学の男女共同参画にとって貴重な10年だったと思う。環境変化に応じた形で今後も3県で情報共有をしつつ男女共同参画を先に進めてもらえれば非常に心強い」とコメントが述べられました。

当日は学内外から58名の参加者があり、参加者アンケートでは「とても有意義だった」や「有意義だった」との評価を多くいただきました。また、「取組や現状を知ることができてよかった」「ネットワークの考え方について、3大学の意見の相違を聞くことができたのは興味深く、また、考えさせられた」「女性活躍推進法」の存在を知らなかったが、このような法律を制定しなければならぬ日本の現状を実感し、ダイバーシティは非常に奥の深い課題であることが分かった」等の感想が寄せられました。



基調講演をいただいた相樂希美東北経済産業局長



石川隆洋理事がパネリスト、安川あけみ室長(教育学部教授)が進行を務めたパネルディスカッション



本学の取組を報告する  
藤崎浩幸男女共同参画推進室副室長(農学生命科学部教授)



シンポジウム会場の様子

## 研究リーダー力向上支援セミナーを開催しました

1月31日に創立50周年記念会館岩木ホールにおいて第1回研究リーダー力向上支援セミナーを、2月20日に総合教育棟310講義室において第2回同セミナーを開催しました。このセミナーは、岩手大学を代表機関とする文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」の一環として、女性研究者の研究リーダーとしての資質・能力向上を支援する目的から実施したものです。

第1回セミナーの講師には、東北大学副学長(広報・共同参画担当)／医学部・医学系研究科教授の大隅典子先生をお迎えし「女性研究者の応援団として：シンデレラ症候群からの脱却」と題して、第2回セミナーの講師には、広島大学ハラスメント相談室専任教員(准教授)の北仲千里先生をお迎えし「研究リーダーのハラスメントマネジメントスキル」と題して、ご講演をいただきました。第2回セミナーは、人文社会科学部学務委員会との連携により開催したものです。

第1回セミナーには36名の、第2回セミナーには26名の参加があり、いずれの回も参加者アンケートでは、「大変参考になった」「参考になった」との評価を多くいただきました。第1回の参加者からは「無意識のバイアスについて非常に考えさせられた。自身の意識を自ら改めて考えつつ、自身の業務についてもみつめなおしていきたい」「女性の意識が変わらないといけないということを再認識した」、第2回参加者からは「事例のバリエーションがあって、現実を想定したディスカッションがよくできた」「大学に特化した内容で非常に分かりやすかった」等の感想が寄せられました。

セミナーの動画は、男女共同参画推進室ウェブサイトにて学内限定で公開しています。ぜひご覧ください。



第1回セミナー講師の大隅典子先生



第2回セミナー講師の北仲千里先生

## 女性研究者懇談会を開催しました

昨年12月4日、創立50周年記念会館会議室において女性研究者懇談会を開催しました。本懇談会は、分野や職階、ライフステージ等異なる本学の女性研究者間のネットワーク構築を支援するとともに、学長などが女性研究者の声を直接聴き、今後の弘前大学の男女共同参画推進のための支援策や取組をより効果的なものとしていくことを目的に企画されたものです。

当日は、ワーキングランチ形式で実施し、女性研究者・大学院生10名のほか、佐藤敬学長、石川隆洋理事、安川男女共同参画推進室長が参加しました。自己紹介の後、職場・研究環境に係る現状や望まれる支援策等について情報・意見交換を行い、地域を先導するようなジェンダー教育プログラムやハラスメント対策のある大学づくりに向けた意見、男性もまじえた意見交換の機会などについて意見が出されました。既出の「ハラスメントマネジメントスキル」をテーマとした研究リーダー力向上支援セミナーは、この懇談会で出された意見をもとに新たに企画・実施されたものです。



懇談の様子

## さんかくカフェ 第1・2回「さんかくカフェ」を開催しました

昨年11月29日に保健学研究科大会議室で平成30年度第1回「さんかくカフェ」を、12月11日に総合教育棟イングリッシュラウンジで第2回「さんかくカフェ」を開催しました。「さんかくカフェ」は、弘前大学の教職員や学生である参加者同士がお茶を飲みながら語り合うことをとおして、男女共同参画実現に向けたよりよい支援のあり方を考える場として例年開催しているものです。今回で通算12回目となりました。

第1回は「男性の育児・介護」をテーマとし、「子育て・介護中の研究者支援員制度」により研究支援員の配置を受けている男性教員と岩手大学男女共同参画推進室の佐藤淑恵ワーク・ライフ・バランス／キャリア相談員から話題提供をいただいた後、11名の参加者間で率直な情報・意見交換が行われました。

第2回は「グローバルな視点からみた男女共同参画」をテーマとし、弘前大学で学ぶオーストラリア工科大学の留学生とメイン州立大学で学んだ弘前大学の学生から話題提供をいただいた後、感想や、弘前大学でジェンダー平等や多様性が尊重されるのに必要な環境等について25名の参加者間で話し合いが行われました。

いずれの回も「大変参考になった」「参考になった」との評価を多くいただきました。第1回の参加者からは「所属機関の長や周囲の理解が重要であることに気づいた」「今日出た話題がもっと多くの教員と共有できるとよい。皆さんの理解が得られる環境に少しでも近づくとよい」、第2回の参加者からは「これからも国際間のこのような問題共有の機会があるとよい」「なかなか外国の話を書くことができないので、日本と比較した話を書くことができてよかった」等の感想が寄せられました。



第1回「さんかくカフェ」の様子



第2回「さんかくカフェ」の様子

## キャリアデザインワークショップを開催しました

昨年12月13日、キャリアセンターセミナー室において「キャリアデザインワークショップ」を開催しました。本ワークショップは、弘前大学の学生を対象に、就職活動や就職後のキャリアデザインに関する期待や不安などについて、男女共同参画やダイバーシティの視点を踏まえて気軽に話し合うことのできる場を提供することを目的として実施したものです。

当日は、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業連携機関のひとつである株式会社クニの秦彩花さん(コーポレート本部人事室)と小野寺佑介さん(コーポレート本部営業企画部門)、また、本学の橋本美佐子学生課長からの話題提供と、グループディスカッションが行われました。グループでは、話題提供の感想や自分のキャリアデザインに関して楽しみなこと・知りたいこと・不安なことなどについて話し合われました。

参加学生からは、「今回のセミナーはキャリアについて考えるとても良い機会になった。今後もこういった企業の方と、直接お話ができる機会やセミナーがあるとよい」「企業に就職するときに今まで気にしていなかった視点がでて、その視点は企業を決める上で大切だと思った」「このセミナーのグループでの話し合いで、女性の社会進出の現状や、これから就職活動をする際にどういった事を大事にして行動していけば良いかなどを学ぶことができた」等の感想が寄せられました。



グループディスカッションの様子